



# 人類の出現～発見された化石～

常設展に入る前に、エントランスの展示で調べてみよう！

人類が現れたのはアフリカ大陸で、今から500～700万年前といわれています。ヒトとは、2本足で歩くことができる霊長類（れいちょうるい）（＝ほ乳類の動物）のことです。人類がどのように進化していったのか、観察してみましよう。

★猿 人（えんじん）

代表的な猿人は、カタカナで何というでしょう。→（ ）  
 今から約（ ）年前に出現しました。

★原 人（げんじん）

別名（ ）原人は代表的な原人です。  
 今から約（ ）年前に出現しました。

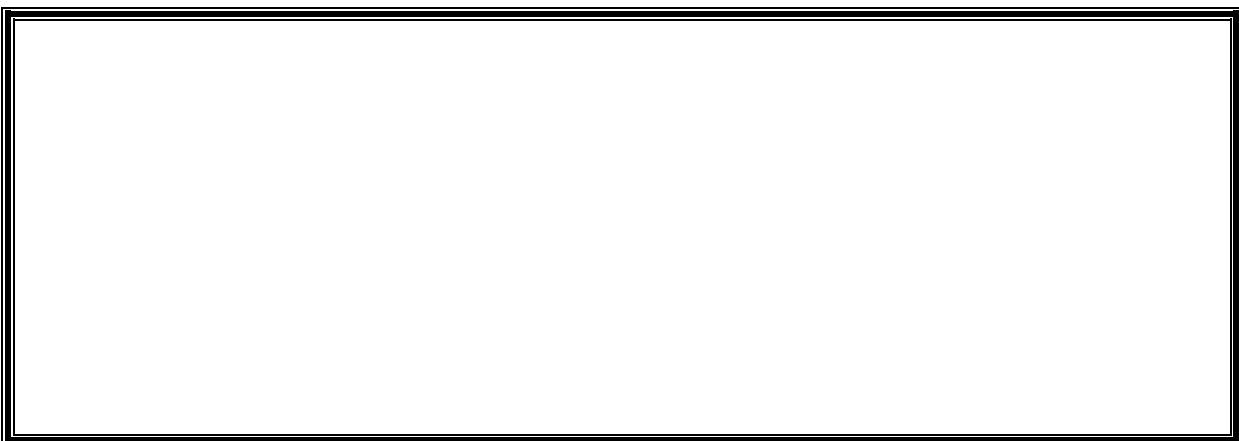
★旧 人（きゅうじん）

代表的な旧人は、カタカナで何というでしょう。→（ ）  
 今から約（ ）年前に出現しました。

★新 人（しんじん）

カタカナでなんというでしょう。→（ ）  
 今から約（ ）年前に出現しました。  
 日本でいうと（ ）時代のひとです。

★頭の大きさや背の高さ、姿勢などの変化を観察してみましよう。

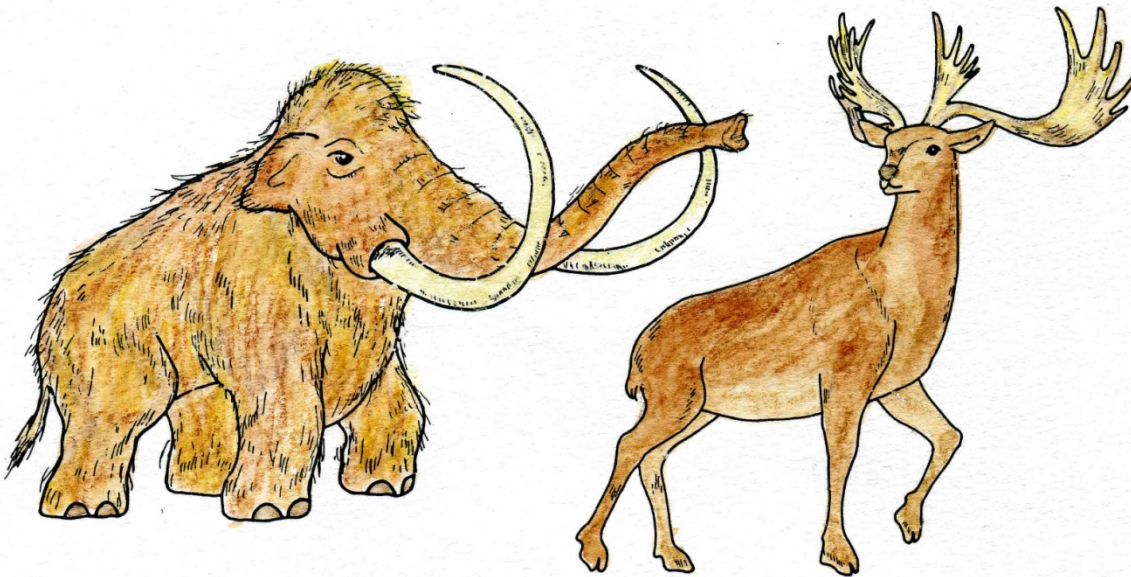




# きゅうせっきじだい 旧石器時代の生活

博物館の常設展見学の最初のコーナーです。今から2万年前のようすや人々の暮らしを調べてみましょう。

- 1 下の絵のどうぶつは3万年ぐらい前まで山梨県に生息していた動物です。旧石器時代の人びとはこの動物をつかまえてたべていました。動物のなまえがわかるかな？



( ) ( )

- 2 このころの人々は石でつくった道具をつかってくらしていました。下の石器をさがしてみましよう。見つかったら石器のなまえと使い方を調べてみましょう。



なまえ ( ) 形石器

使い方 ( )



なまえ ( )

使い方 ( )

学校見学用ワークシート②-2

3 山梨県内では採取できない、石器をつくる材料となった右の写真のような黒い石のことをなんというでしょう。

( )



4 展示されている旧石器時代の遺物は、南部町天神堂遺跡<sup>いぶつ てんじんどういせき</sup>で発見・発掘された旧石器時代の礫群（れきぐん）といわれる遺物です。石がたくさんあるこの遺物は、どんな使われ方（やくわり）をしていたでしょう。

礫群（れきぐん）のやくわり



天神堂遺跡出土礫群

5 旧石器時代の人びとの暮らしについて博物館の展示やガイドさんのはなし、下の絵を見てわかったことや気づいたことを自由に書いてみよう。



○狩りに使っている道具は・・・

○住んでいる家は・・・

○服装は・・・